

Minami Kyushu University Syllabus					
シラバス年度	2023年度	国講キャンパス		都城キャンパス	
科目名称	環境保全園芸特別実験			実務経験	Active・L ○
科目コード	642340	単位数	12単位	学位授与方針との関連	DP1, DP2
教員氏名	山口 健一				
授業概要	農学系専門分野の一つとして「環境保全園芸学」に関する高度な実験科学的研究テーマを定め、植物保護・防疫について、その背景、実験手順・内容およびデータ解析の方法を習得することを目的とする。				
関連する科目	履修中： 環境保全園芸学特論Ⅰ・Ⅱ、環境保全園芸学特別演習Ⅰ・Ⅱ				
授業の方法と進め方	受講生が予め合意した研究課題について、関連する知識を得ながら研究手法を修得する。修了前に学会等研究報告を経て修士論文を完成させる。				
授業計画	<p>01-12. 授業の進め方 研究テーマについて討議する。</p> <p>13-24. 共通高度手法の修得〔1〕 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。</p> <p>25-36. 共通高度手法の修得〔2〕 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。</p> <p>37-48. 共通高度手法の修得〔3〕 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。</p> <p>49-60. 共通高度手法の修得〔4〕 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。</p> <p>61-72. 共通高度手法の修得〔5〕 植物および微生物について高度な取り扱い手法を学ぶ。</p> <p>73-84. 研究中間報告/学会発表 修論研究の中間報告または学会発表を行う。</p> <p>85-96. 個別高度手法の修得〔1〕 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。</p> <p>97-108. 個別高度手法の修得〔2〕 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。</p> <p>109-120. 個別高度手法の修得〔3〕 研究テーマに必要な高度手法を学ぶ。</p> <p>121-132. 論文作成ガイダンス 修士論文の作成方法について学ぶ。</p> <p>133-144. 論文作成〔1〕 修士論文を作成する。</p> <p>145-156. 論文作成〔2〕 修士論文を作成する。</p> <p>157-168. 修論研究発表準備 プレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>169-180. 修論研究発表 プレゼンテーションを行う。</p>				
授業の達成目標	「環境保全園芸学」に関する高度な知識および研究手法について理解するとともに、当該分野における問題解決能力を修得する。				
授業時間外の学修	次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習する。(30分程度) 授業ノートおよび配布資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。(1時間程度)				
課題に対するフィードバック	授業内で出た質問等については、補足および理由を付して正答を示す。		評価方法・基準		研究報告・学会発表(50点)と論文提出(50点)で評価する。
テキスト	授業内容に関する資料・論文や参考となる図書を都度配布・紹介する。				

参考書	授業の進展にそって、関連する参考書や資料・論文等を適宜紹介する。
備考	